



南アルプス市出身・在住  
フリーアナウンサー・農家

## 浅利 そのみ

あさり そのみ

### 農家の二刀流?!

### アナウンサーと

「こんな畑ばかりの田舎は嫌だな。」「農家の娘なんて恥ずかしい。」こんな風に思っていた子供の頃の私に言ってあげたい!「大人になったあなたは、南アルプス市を愛し、優しい旦那さんと出会い、可愛い息子に恵まれ、両親と一緒に農業をしていますよー!」と。人生、何が起こるか分からない。もし、子供の私がこのことを知ったら、南アルプス市中に聞こえるような声で驚いているだろう。

アナウンサーになろうと思ったきっかけは、小学校1年生のとき、今は亡き祖父に「そのみは、アナウンサーになったらいい。」と言われたから。テレビに映るアナウンサーはみんなキラキラしているように見えて、一瞬にして将来の夢が決まった。でも、就職はびっくりするほど決まらなかった。受けても受けても不採用。50社以上受けてようやく決まったのが、地元のラジオ局 FM-FUJI だった。番組や取材を通して山梨の魅力を感じつつも、外の世界も見たいと TOKYO FM の中途採用にチャレンジ。そこからは、記憶がないくらい忙しく働いた。毎日が刺激的でとにかく楽しかった。たくさん成長させてもらった。でも、ふと立ち止まったとき、ああ、やっぱり、私は山梨が好きだ。あの自然溢れる南アルプス市で家族と暮らしたい。外を見たからこそ、素直にそう思った。

今年でアナウンサーになって20年目。有難いことに、イベントの司会や市長との対談など、南アルプス市の仕事もたくさん担当させてもらっている。息子が生まれてからは、両親が育てる果物を引き継ぎたいと、農業も始めた。動けば動くほど感じるが、ここには、魅力的な人がわんさかいる。そんな人たちと一緒に、もっともっと南アルプス市を盛り上げていきたい。これが、これからの私の楽しみです!



写真・本人より提供

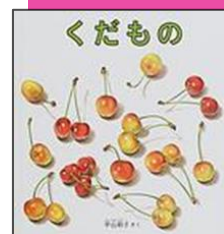
### 浅利そのみ氏プロフィール

元 FM-FUJI、TOKYO FM アナウンサー  
農家・やまなし大使  
アナウンサーの仕事をしてながら、実家の畑(さくらんぼ・桃・ぶどう)を手伝い、農業を学んでいる。山梨で農業を楽しむ女性で結成した「やまなし農業女子」のメンバーでもあり、マルシェで農育絵本のおはなし会をしたり、果物のオンラインもぎ取り体験の MC、メディアでの広報など「やまなし農業女子ナビゲーター」としても活動している。

### 浅利さんお気に入りの一冊

『くだもの』 平山和子作 福音館書店

表紙と裏表紙のさくらんぼを始め、桃やぶどう、柿など、南アルプス市でも作られている果物がたくさん出てきます。息子に、読みながら「さあ、どうぞ」と差し出すと、もぐもぐ食べる仕草をしたのが可愛くて、何度も読んだ思い出の1冊。南アルプス市民にはぴったりの絵本です。



# 本とともに 一本と出会う場所



南アルプス市では、子どもたちに読書の楽しさを知ってもらい、素敵な本と出会うことを願って、4か月児健康診断時に絵本を手渡すブックスタート事業を、小学校1年生に本を手渡すセカンドブック事業を実施しています。

そして、今回新たに子どもたちが本と触れ合い、心豊かに成長することを願って、小学校4・5・6年生と、中学生におすすめの本を紹介するサードブック事業を始めました。



【中央図書館サードブックコーナー】



小学校  
4・5・6年生に  
すすめる本

中学生に  
すすめる本



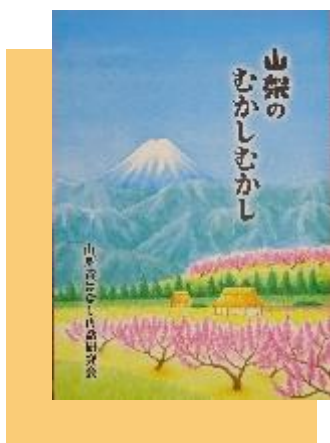
【おすすめの本のリスト（図書館ホームページから閲覧可能）】

市立図書館司書と学校司書が選んだおすすめの本が、図書館の「サードブックコーナー」に展示されています。長い間読み継がれてきた作品や、将来の糧となるような作品が並んでおり、実際に手にとってみることができます。本と一緒に「小学校4・5・6年生にすすめる本」「中学生にすすめる本」のリストがあり、それぞれの本のおすすめポイントが書かれています。こちらのリストは図書館のホームページから見ることができます。

心に残る本を見つけるきっかけとして、ぜひ利用してみてください。

—語り継がれる山梨の昔ばなしを読んでみませんか？—

山梨昔ばなし再話研究会さまから本の寄贈をいただきました



## 『山梨のむかしむかし』

山梨昔ばなし再話研究会

山梨昔ばなし再話研究会さまから本の寄贈をいただきました。

山梨に伝わる昔ばなしの中から共通語と土地言語のそれぞれのよさを伝えたいと考え、子どもたちに残したい作品を念頭に、24作品が掲載されています。甲州弁で語られるおはなしもあります。お楽しみください。

ご関心のある方は中央図書館までお問い合わせください。